

● イヌシデの観察

ため池の畔にイヌシデがあります。
新緑が美しいですね。

よく見ると枝先には雌花序（若い果苞）が見られます。
足もとには落下した雄花序が多数見られます。
雌花序は本年枝の枝先に、雄花序は去年の枝先につきます。



イヌシデの果実がこのあとどのように成長するか、観察を続けたいと思います。

イヌシデはコナラやクヌギなどとともに、里山の雑木林を形成する代表的な落葉樹です。

シデは漢字で紙垂、あるいは四手ですが、注連縄（しめなわ）につける稲妻のような紙のことで、果苞のようすがそれに似ているというのが名前の由来とされています。

カバノキ科で、イヌシデに近いものにはアカシデ、クマシデがあります。



参考：雄花序と雌花序



参考：雌花序



参考：5 月半ばの果苞。右は 1 個の果苞

